正しく表示されない場合は、ブラウザで表示させてください。

ICRC

赤十字国際委員会 ニュースレター

5月号 2022



最新情報：アゾフスターリ製鉄所とマリウポリからの民間人避難

約500人の避難が実現した５月３，４日に引き続き、５月８日に第３陣がザポリージャに到着。製鉄所内にいた51人の民間人と、マリウポリ市内にいた人々合わせて170人以上が無事避難しました。

「避難できたなんて夢みたいです。たくさんの人たちが力を尽くしてくれたおかげ」と避難者の一人は語ります。ICRCは３月以来、スムイやマリウポリの民間人１万人以上をウクライナ国内の比較的安全な都市に避難させています。今後も、戦火のなかで取り残された人々、逃げることのできない人々の救助に力を尽くしていきます。

SNSで見る情勢



ウクライナ紛争激化から２カ月：
ICRCは現場で何をしていたの？



アフガニスタンで貧困が深刻化

【目次】

紛争の現場から
☞ カメルーン：暴力事態下でも医療を受ける基本的な権利を
☞ サウジで捕らわれていた117人が母国イエメンへ

世界のトレンド
☞ アフリカ全域で４人に１人が食料危機に

日本人に知ってもらいたい
☞ ウクライナ：紛争激化から２カ月、支援はどのように届いている？

駐日代表部だより
☞ 国境なき医師団とのイベント：今、あらためて「人道」を考える
☞ まもなく締切！広報インターン

紛争の現場から



カメルーン：
暴力事態下でも医療を受ける基本的な権利を

カメルーンでは、近年発生している武力紛争や治安の悪化により、弱い立場に置かれた人々が十分に医療にアクセスできないことが問題となっています。そんな中、ICRCは紛争当事者などとの対話を通し、安全に、そして確実に医療支援を届けるべく活動しています。



サウジで捕らわれていた117人が母国イエメンへ

イエメン紛争の当事者による２カ月間の停戦合意を受けて５月６日、サウジアラビアで拘束されていた117名が解放されました。母国イエメンで待つ家族のもとへ戻る前に、ICRCは一人一人と面談し、健康状態を確認したり、帰国の意思を確認したりしました。実際のの帰還にも同行し、移送行程を管理・監督しています。

詳しくはこちら

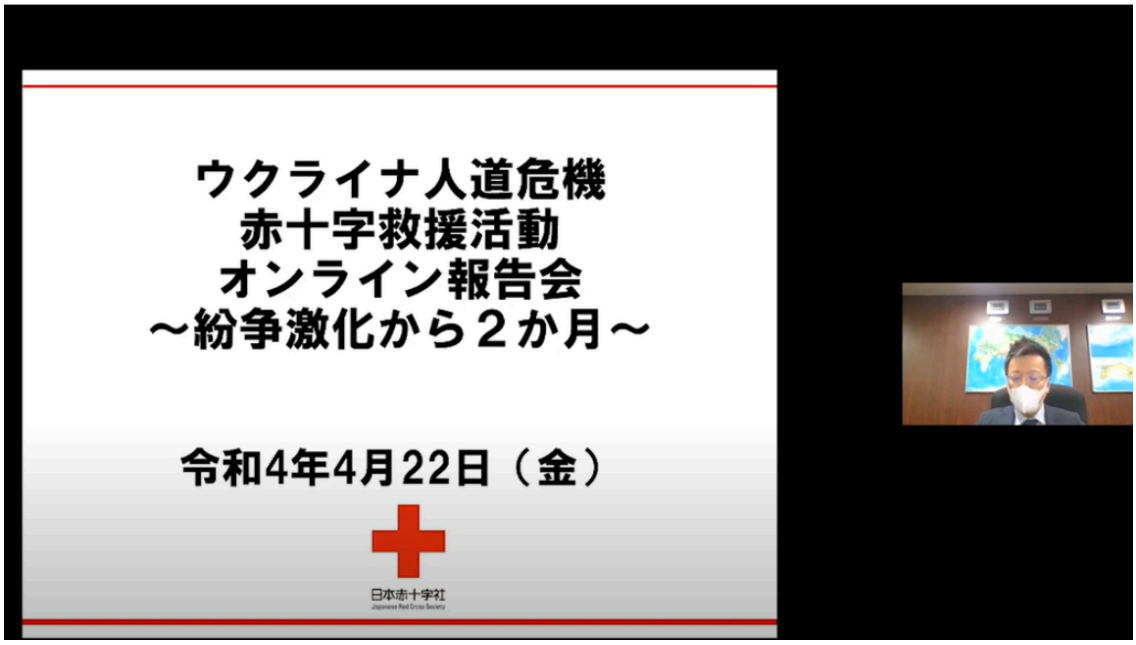
世界のトレンド



アフリカでは３億4,600万もの人々が食料危機に直面し、数百万世帯が飢餓状態に陥っています。気候危機、避難民の急増、食料や燃料の価格高騰、コロナ禍に加えて、ウクライナ紛争が状況をさらに悪化させています。

詳しくはこちら

日本人に知ってもらいたい！



ウクライナ：
紛争激化から２カ月、支援はどのように届いている？

2022年４月22日に実施した「ウクライナ人道危機　赤十字救援活動オンライン報告会」。国内パートナーの日本赤十字社には、５月６日時点で、38億8,006万9,878円の善意が寄せられています。このウクライナ人道危機救援金は、現地のICRCの活動にも活かされます。

赤十字はウクライナ危機でどんな活動をしているの？
オンライン報告会の動画はこちら

駐日代表部だより



国境なき医師団とのイベント：
今、あらためて「人道」を考える

2022年５月19日（木）と20日（金）の二日間、国境なき医師団（MSF）と共催で、「人道援助コングレス東京 2022」をオンラインで実施します。ウクライナ、アフガニスタン、民間セクターとのコラボ、命を脅かすAMR感染をテーマに、多様なバックグラウンドを持つパネリストやモデレーターの方たちをお招きし、議論を深めます。

イベント詳細・申し込みはこちら



まもなく締切！広報インターン

ICRC駐日代表部では、５月15日（日）締め切りで広報インターンを募集しています。人道援助や国際法に関心のある方、日本から世界の人道問題に取り組みたいという熱い思いをお持ちの方、ぜひ一緒に働いてみませんか？

その他のニュースはこちら

© 2022 INTERNATIONAL COMMITTEE OF THE RED CROSS

配信停止をご希望の方は、お手数ですがこちらよりお手続きください。
ICRC駐日代表部のプライバシーポリシーはこちらでご確認できます。